

ふくよか



2023冬号

■長崎県病院企業団本部
■令和5年1月発行



令和5年の干支の卯

目次 CONTENTS

P2…企業長より

令和5年 年頭所感

P3…病院企業団ホームページをリニューアルしました！

スマホでも見やすくなりました！

P4…特集①NP学会へ行ってきました。

企業団の魅力や制度を伝えてきました！

P5…特集②令和4年度上半期医業収益の状況

昨年度上半期と比較しています

P6…特集③令和4年度中堅職員研修

11月21日から22日の2日間研修を行いました。

P8…Break Time

「一年の計は…」

vol.
34

令和5年 年頭所感

企業長 米倉 正大

あけましておめでとうございます。

暮れからお正月にかけての入院患者や救急患者の対応は、毎年のことながら大変だったと思います。ご苦労様でした。

コロナ禍も3年目が終わろうとしていますが、この原稿を書く時もコロナ感染者は増加し、第8波の波が押し寄せ4年目に入る勢いで、気になるところです。以前から言われていましたが、いよいよwithコロナの社会で生きていく覚悟を持たなければならなくなったということでしょう。

しかし、コロナ感染でも重症になる人は初めのころに比べると極端に少なくなり、病院運営としては以前の姿に戻りつつあります。患者さんの重症度は低いものの、職員への感染が散発し、出勤できないことが大きな問題になり、その対応で大変なご苦労をされているのではないかと思います。第7波では企業団内の各病院からの職員派遣で乗り

切ったように、企業団病院が一致協力してこの難局に立ち向かきましょう。

世界に目を向けると昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻は、長期戦となり両国に多くの戦死者が出ていると同時に、ウクライナ全土が言われのない破壊にさらされています。核戦争にもなりかねない状況に、ただ世界は息を凝らしてみているだけで無力さを感じます。一方、地球温暖化は、世界の多くの地域で水害や干ばつなどの異常気象を引き起こし、もう引き返しがつかない状況になっているのではないかと思うほどです。

我々の世代で、地球の未来を台無しにしてもいいのかと思いつつも、いったん享受した快適な暮らしを手放すのも簡単ではありません。今、私たちにできるSDGsは何かあるのか、考えながら生活する日々が続いています。

さて、医療の現場に戻ると2025年に向けた

地域医療構想の達成は、この3年間コロナ騒動で少し緩んでいたような状況でしたが、いよいよその時期が2年後に迫り、国も地方自治体も本腰を入れてきました。今年中には、各医療圏での必要病床数を確定し、検討されることとなります。長崎県での令和3年の報告では、高度急性期・急性期は2,999床が過剰、回復期は2,095床が不足、慢性期は1,900床が過剰となっています。病院企業団の医療圏では、上五島病院と対馬病院はそれぞれ単独での病床機能の調整はできませんが、島原市、五島市、壱岐市では、民間の病床も含めた調整が必要となりますので、3月までには各医療圏での話し合いを済ませ、企業団病院の病床の削減や機能の調整について、早急に自院の考えを打ち出す必要性が出てきています。

昨年の経営会議でも話題になりましたが、各病院は、コロナ患者さん対応で、すでに島原病院40床、五島中央病院40床、上五島病院36床、対馬

病院46床が、一般病床から削減した状態で、運営されています。今、日本中の病院で患者数がコロナ前の水準に回復しないと悩んでいる病院が多い中、今後、企業団病院の地域でも、入院患者数はもう戻らないのか見極めが重要になってきます。現在、縮小した病床を元に戻せば、元々ぎりぎりでの看護体制で行っていた診療は、その職員を調整するのに苦労することになります。これは、各病院の今年最大の問題になるのではないかと思います。

最後に夢のある話を!! 今年はいくつかの病院で建て替えや増築が本格的に動き出す年になりそうです。上五島病院は、現病院に隣接する公園も含めた現在地に154床に縮小された新病院の建設が決まりました。また、上対馬病院は40〜50床の病院が計画され、その建設場所が今検討されています。また、老岐病院は、企業団に参加した当時と比べ、入院患者増や外来患者増で、現在の病院が手狭になったということで、増築される計画が持ち上がっています。さらに、精神医療センターも7〜8年後の建て替えのため、その用地の選定が行われる予定です。今から新しく建設される病院は、20年、30年後の縮小の時代でも、医療の質を確保しながら安定した経営がなされるように、計画していかねばなりません。それぞれの病院には知恵を出してほしいと思います。



病院企業団ホームページをリニューアルしました!

画面サイズに合わせて
レイアウト最適化



スマホで
アクセス!



この度、ホームページを全面リニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、ご覧いただく皆さま方により見やすく、分かりやすく情報をお伝えできるホームページとなるよう、デザインを一新いたしました。

そして、今回、ついにスマートフォンやタブレット端末からもご覧いただける「レスポンシブサイト」になりました!

特に学生や若い方々に病院企業団に興味を持っていただき、採用に繋がればと思っています!

今後も、これまで以上に使いやすいホームページとなるよう、ブラッシュアップしていきますので、何卒よろしくご厚意申し上げます。

第8回日本NP学会へ行ってきました。

Zoom up!
特集①



11月12日～13日に愛知県の藤田医科大学で開催された『第8回日本NP学会学術集会』で企業展示を行いました。現在診療看護師教育課程の1年生や、すでに資格取得した診療看護師の方等、2日間で30名以上の方がブースを訪問くださり、企業団の魅力や貸与制度のことをお伝えすることができました。



▼企業団ブース



事前に各病院からいただいた病院パンフレットも来場の方から好評でした。



▲たくさんの方にご来場いただき、企業団の修学資金制度についてPRを行うことができました。



▲来場された方に配布した『診療看護師育成資金貸与制度』のパンフレット

診療看護師、専門看護師、認定看護師を目指す方を企業団は応援しています。詳しくは本部担当までご連絡ください。

電話：095-825-2255
mail: honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp

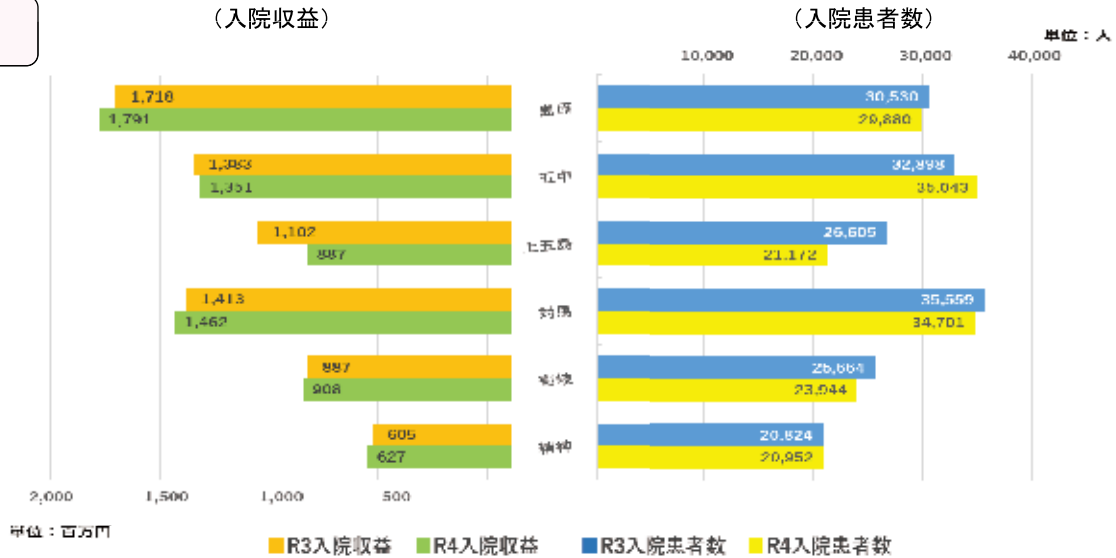




令和4年度上半期医業収益の状況 (基幹病院)

医業収益の大半を占める入院・外来収益の令和4年度上半期の状況は以下のとおりです。

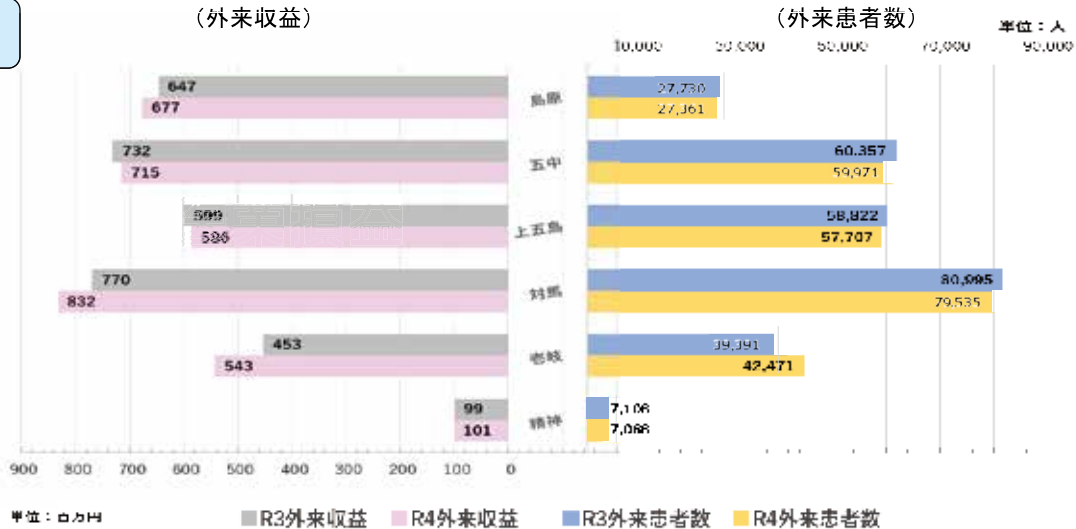
入院



POINT

令和4年度上半期の入院患者数は、五島中央病院および精神医療センターを除く病院で減少しており▲6,388人(3.7%減)となっております。収益は島原病院、対馬病院、壱岐病院、精神医療センターで増加しましたが上五島病院の減収が大きく約80,639千円(▲1.1%)の減少となっております。

外来



POINT

令和4年度上半期の外来患者数は、壱岐病院を除く施設で減少しましたが、ほぼ横ばいの▲270人(0.1%減)となっております。収益はほぼ全施設で増収となっており約155,809千円(+4.7%)の増加となっております。

まとめ

入院・外来収益の合計は9,753,241千円となり、昨年度上半期の9,702,635千円と比較すると50,606千円の増加となりました。患者数減少の一方、新型コロナウイルス感染症診療にかかる加算の影響により単価が増加したことに起因するものと推察されます。

また新型コロナウイルス感染症対応および医療提供体制確立のため入院患者の受入を調整し外来で対応するなどしたことも一因と考えられます。

今後も少子高齢化や人口の減少に対し、引き続き「縮小の時代を生き抜く知恵と勇気」をスローガンにより良い病院づくりを進めて参ります。



令和4年度 中堅職員研修 R4.11.21~11.22

中堅職員として必要な組織マネジメントを学び、構成員の一人として誇りと責任を持ち一体感の醸成を図ることを目的に、2日間に渡って中堅職員研修が実施されました。

各病院・診療所から、事務職、医療技術職、看護職など、主に「入職10年目以上かつ31歳以上」の方を対象に37名の方が参加しました。～今回は研修の様子を特集します～

オリエンテーション



◀まずはアイスブレイクとして自己紹介とミニゲーム。一定の条件のもとでペーパータワーを作成！
チームビルディング！



ミニレクチャー & グループワーク

庄山主幹より災害時の▶病院機能の維持（BCP）についての講義。
変動に対応する前提で業務継続できるチームを作る！



記念撮影

1日目に長崎県▶JA会館にて撮影しました！



米倉企業長 講演



- ◀米倉企業長より中堅職員の皆様への期待を込め挨拶。
- ・若手は中堅職員の背中（知識・スキル）を見て育つ！
- ・やる気をもって育成しよう！
- ・中堅職員は、病院の要！

ハラスメント相談窓口

- ▶各病院の院長、事務部長、看護部長、これらに類する所属長
- ▶本部総務部長（総務人事班）
電話 095-825-2255
MAIL honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
- ▶外部相談窓口
弁護士 鷺見 賢一（わしみ けんいち）
弁護士法人 ALAW&GOODLOOP
長崎市万才町6-11 三井ビル3階
電話 095-895-7532
FAX 095-895-7533
※1回につき1時間を限度
※初回相談料のみ企業団負担、2回目以降は自己負担

- ◀ハラスメントは被害者だけでなく周囲にも悪影響を及ぼします。被害を受けた方はもちろん、周囲の方も気が付いたら早めの相談を！



伊藤副企業長 講演

皆さんに期待すること

病院企業団を支える「中堅職員」として、

- ①「**企業団組織目標**」や「**病院理念**」の理解
※病院の経営状況にも関心を持ってほしい。

②**他者**（患者・家族、上司・同僚・後輩など）への**配慮**

※地方公務員としての**自覚と責任ある行動**、**自己研さん**

※病院の経営は、院長や事務部長など管理職だけで出来るものではなく、**病院の職員全員が一体となって**取り組むことが出来るものです。

ハラスメントを防止するために

1. 職場の構成員として良好な勤務環境を確保するため認識すべき事項

○職場からハラスメントに関する問題の行為者や被害者を出さないようにするために周囲に対する気配りをし必要な行動をとることが必要。具体的には、次の事項について十分に留意して必要な行動をとる必要があります。

- ・ハラスメントに当たる恐れがある言動が見受けられる場合は、職場の同僚として注意を促すこと。
- ・被害を受けていることを見聞きした場合には、声をかけて相談に乗ること。

○職場におけるミーティングを活用することなどにより解決することができる問題については、問題提起を契機として、良好な勤務環境の確保のために皆で取り組むことを日頃から心掛けること。

○ハラスメントと思われる言動が行われている状況について上司等に相談するなどの方法を取ることをためらわないように。

- ▲伊藤副企業長より、病院企業団が置かれている現状や中堅職員としての姿勢、ハラスメント防止についての講義。企業団全体で**ハラスメント防止**に取り組んでいます。

ワークショップ

～ 貞方看護管理監より 問題のある後輩職員への指導について学ぶ～

困った職員への対応



本部職員を交えてロールプレイ



- ▲人材を育てる観点から、指導法、建設的フィードバック、指導が難しい後輩への対応などを議論！

- ◀後輩（演：本部職員）の相談にアドリブで対応！評価表を参考に良い点をコメントしている様子！

2日間に渡る研修、大変お疲れ様でした！





Break Time



一年の計は・・・

明けましておめでとうございます。この年末年始、いかが過ごされたでしょうか。少し太られた方もいるのでは。「一年の計は元旦にあり」と言います。この諺は、年頭に今年は何をするか、目標を定め、決意を新たにすることが大切ということで、年の初めの過ごし方がその一年を左右するという思いがあるとのことです。

「医者の不養生」という諺がありますが、医療に関わっている皆さんも、自分の健康にはあまり注意していない方も多いのではないのでしょうか。

ご存じの方も多いと思いますが、長崎県は、「血圧の高さ」は、女性は全国ワースト4位、男性はワースト5位、男性の「喫煙率」は35%と全国ワースト4位ということで、県では、健康長寿日本一を目指し、運動、食事、禁煙、健診の4点について、毎日プラス10分の運動、毎日プラス一皿の野菜、禁煙チャレンジ、毎年1回の健診受診など、「はじめる！長崎健康革命」という新たなキャッチフレーズを掲げて、県民の様々な健康に関する取組を支援しています。

昨年^{かい}の1月、「隗より始めよ」ということで、県福祉保健部の職員が、それぞれ目標を立てて健康づくりにチャレンジする機会がありました。私も毎日9000歩という目標を立ててチャレンジしたものの、年明け早々から、新型コロナウイルス感染症の第6波への対応を口実^{くぐつ}に、歩く時間を作るなどの努力をせず、結局ほとんど達成することはできませんでした。

健康づくりを継続することは難しいということで、県では、栄養バランス、適塩、野菜たっぷりのメニューを提供する店を「健康づくり応援の店」として登録して紹介したり、毎月8日を減塩・野菜の日として設定（野菜の「や」、減塩の目標が1日8グラム以内ということから設定）したり、今年3月には、ウォーキングやイベントの参加などでポイントが貯まる「健康づくりアプリ」を提供したりするなど、健康づくりに継続して取り組むための仕掛けづくりを行っています。

年の初めの過ごし方が1年を左右するといひます。私も、気持ちを新たに、「毎日プラス10分の運動」という目標を立てて、健康づくりに再チャレンジしてみたいと思います。皆さんも、何かできることから自分の健康づくりにチャレンジしてみませんか。

(文：副企業長 伊藤幸繁)



編集後記

あけましておめでとうございます。
私の今年の目標は挑戦することです。今年の干支であるうさぎのように仕事も健康も遊びも跳躍できるよう取り組んでいきたいです。



ふくよか

～「ふくよか」の由来～
医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力をつけてほしいとの企業長からの願いが込められています。

令和5年1月発行
編集・発行／長崎県病院企業団本部
〒850-0035 長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル7階
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759
E-mail : honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
URL : <http://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp/>
上記メールアドレスに記事についてのご意見・ご感想を
どんどんお寄せください！



長崎県病院企業団

検索